

【今の若い

者達は・・・】

誰からともなく、私達人間には、昔から代々伝わる言い草があります。それは

「今の若い者達は」これです。私は言われたこともありませんし、生意気にも後輩達にも言ったこともありません（笑）。この言い草はもしかして、永遠に変わることはないのかもしれませんが。

京都に私の友人の森淳亮さん（47歳）という方がいます。彼は面白い経歴を持つていまして、まず早稲田大学を卒業後、音楽の道に進みます。いくつかのバンドを結成してアマチュアで活躍（関西では少しは知られたグループだったそうですが）。また、映画監督にもなり（これもマナーですが何本か制作完了）、30歳も後半になりコンピュータ会社就職、数年でその会社の社長に就任しました。そして現在は日蓮宗の僧侶。

元々実家がお寺だったというところもある様ですが・・・。その彼が、僧侶になる切っ掛けを作ったのが、実はエジプトにあるピラミットだというのです。

どういうことかと申しますと、ピラミットの中には数千年の昔、当時のエジプト人が書き残した言葉が刻まれていたというのです。その言葉の意味を調べてみてビックリ！なんと「今の若い者達は」（笑）と書かれてあったそうです。

古代の人類も現代の人類も、全く同じ言葉が発しています。現代社会はこれだけ科学が進歩して、科学万能時代と言われ、昔とは比べものにならないくらい便利な世の中になりました。有り難い事です。にもかかわらず、「今の若い者達は」と言われるのはなぜでしょうか？大事なものが成長していない証拠であります。その大事なものは紛れもなく「心（精神）の成長」という事になりましょう。ではその心を成長させる

ために必要なものとは何でしょうか？その教育の原点とは？

「今の若い者達は」と言っている親御さんの背中、あるいは先輩や上司の模範的態度に隠されているのではないのでしょうか？

子供達は親の姿を見て育ちます。だからしない親の子供はだらしないとなり、はじめのある親には、はじめを持った子供が育ちます。これは偽らざる真実と言えてでしょう。子供達は親を見て育ちます。であるならば、**子供は親の写し鏡**なのです。

家庭でどう育てられたのか、全ての原因になっているといえるのではないのでしょうか？今の子供達が起している問題行動や事件は、全て親の生き方の反映といって過言ではないでしょう。親の態度や物の見方や考え方は、そっくりそのまま子供の脳の中に植え付けられ、子供の一生を支配していきます。

専門的には、人間の脳は3歳ですでに60%以上形成され、感覚や感情の部分を身

につけます。だとすれば理想的なのは、3歳までは愛情の深さと優しさを教育して、4歳頃からは理想や志の高さを親の態度で教える事が大切になってくると言えそうです。

ここで面白いのが、子供は「愛」の対象を母親に求め、「理想」や「志の高さ」を父親に求めるといいます。それから、やはり父母あつての、その子供なのですね。

親の子供への愛情は人間特有のものではなく動物の本能といっても過言ではないでしょう。人間も動物も愛情という点ではさほど変わりません。変わるのは理想と志の高さだけなのです。動物は人間と同じ様な愛情を持ったとしても、理想や志の高さを教えることは出来ません。逆に言えば、動物は愛情だけで育つが、人間は愛情だけでは立派に育たないという事ができます。理想と志の低い親からは「敬の心」を持つた子供は生まれません。ちなみに広辞苑で「敬」をひいてみますと、「つつしむこと。うやまうこと」とあります。

つまり敬とは理想と志の高い人からしか生まれないう事です。敬のない親が、慎むことや敬うことを知らないまま、子供達を生み出しているのです。

私の最も尊敬する人物の一人に、碩学者であった安岡正篤という方がおられます。彼は教育の原点は恥を知り、敬の心を発達させる事の重要さを説いておられます。

「人間は現実にとどまらず少しでも意義あるもの、高いものを求める。ここに生ずるのが敬の心であります。

敬の心を持つと、相対的に自らの低い現実を顧みてそれを恥ずる心が起きます。敬の心を発達させ、恥を知ること教える事。ここに教育の原点がある」と仰っています。けだし名言だと思えます。

「今の若い者達は」

これを言う前に、まずは自らに理想と志を掲げ、敬の心を身に付けなければいけませんね。

それにしても恥を教え、敬
の心を植え付ける□つくづ
く教育というのは難しい
ものです。

副住職 谷川 寛敬

副